



第10回  
子ども市議会



平成24年 7月31日  
開会





別府市議会議長  
松川 峰生

## 子ども市議会を終えて

「べっぷ子ども市議会」も、10回目を迎えました。

子供たちの一般質問や提言を聴き、社会を確かな目で見つめている実感を得ると同時に、これから別府市を背負って立つ子供たちが本当に大勢育っていることに改めて感動いたしました。

子供たちが素朴に感じている疑問は、「まちづくり」の原点そのものであり、我々市議会も改めて初心に帰る機会を得たと考えます。

近い将来、この子供たちが主役になる時代がやってきます。今回の子ども市議会を通じて別府という社会を見、それが子供たちの心の中で「ふるさと」を愛する気持ちを育んでくれることを確信いたしております。

子ども市議会の開催にあたり、ご協力をいただきました各小中学校の先生方、PTA連合会の皆様方、市子連の皆様方に対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

子供たちは未来を担う別府市の宝です。この宝は家庭、学校、地域社会が大きな力で守り育てていくものと考えています。この子ども市議会がその一助になることができたなら幸いと存じます。



別府市長  
浜田 博

## 将来の別府を担う 子ども市議会

節目となる10回目を迎えた、小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、次世代を担う子どもたちの別府に対する鋭い観察力と創造性豊かな提言により、大変素晴らしい子ども市議会となりました。人と人とのつながりを大切にして、このまちがもつ素晴らしい資源を活用しながら未来を創造することを提唱した、「別府の発展に協力するために」という、力強い宣言をいただきました。

私たちは、「ONSENツーリズム」のまちづくりを一層推進することにより、笑顔あふれるこの美しいまちを、次の世代に引き継いでいかなければならないと改めて認識いたしました。

第10回「べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方、保護者の方々、関係者の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、「べっぷ子ども市議会」がこれからも益々発展されますことをご期待申し上げます。

## 議長



岩田 優里 議員  
(鶴見台中2年)

## 副議長



西岡 冬威 議員  
(中部中3年)

## 一般質問



浅井 茄琳 議員  
(朝日小6年)



福山 美羽 議員  
(南小6年)



山口 萌恵 議員  
(境川小6年)



阿比留 知映 議員  
(別府中央小6年)



武本 大輝 議員  
(亀川小6年)



三浦 航貴 議員  
(上人小6年)



足立 凜 議員  
(大平山小6年)



澤本 快 議員  
(青山小6年)



川口 晃季 議員  
(南立石小6年)





竹田 希帆 議員  
(石垣小 6年)



佐藤 星来 議員  
(東山小 6年)



高峰 葵子 議員  
(西小 6年)



田上 和 議員  
(春木川小 6年)



荒金 奏羽 議員  
(鶴見小 6年)



西村 早耶香 議員  
(緑丘小 6年)

## 提 言

## 子ども宣言



有田 双葉 議員  
(東山中 2年)



恒松 皇樹 議員  
(浜脇中 2年)



北原 收真 議員  
(青山中 1年)

## 謝 辞



平江 天希 議員  
(北部中 2年)



加藤 隼哉 議員  
(山の手中 2年)



永松 文 議員  
(朝日中 3年)

## 第10回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・会期-----	1
・会期日程表-----	1
・子ども議員提出議案議決結果-----	1
・一般質問者一覧表-----	1
・提言者一覧表-----	3
・出席議員-----	5
・欠席議員-----	6
・説明のための出席者-----	6
・主催者等出席者-----	6
・議会事務局出席者-----	7
・議事日程（第1号）-----	7
・本日の会議に付した事件-----	7

### [ 開 会 式 ] 目次

・開 会-----	9
・主催者紹介-----	9
・議長あいさつ-----松川峰生議長-----	9
・閉 会-----	10
・子ども議長、子ども副議長紹介-----	10
・出席議員数の報告-----	11

○第1号（7月31日・火曜日）

・開 会	-----	11
・議席の指定	-----	11
・会議録署名議員の指名	-----	12
・会期の決定	-----	12
・一般質問	-----	12
	質問者・浅井 茄琳 議員	12
	答弁者・大野 光章 企画部長	13
	浜田 博 市長	13
	質問者・福山 美羽 議員	14
	答弁者・大野 光章 企画部長	15
	浜田 博 市長	15
	質問者・山口 萌恵 議員	16
	答弁者・寺岡 悌二 教育長	16
	浜田 博 市長	17
	質問者・阿比留 知映 議員	18
	答弁者・永井 正之 生活環境部長	19
	浜田 博 市長	19
	質問者・武本 大輝 議員	20
	答弁者・亀井 京子 ONSENツアリズム部長	20
	浜田 博 市長	21
	質問者・三浦 航貴 議員	21
	答弁者・大野 光章 企画部長	22
	浜田 博 市長	22

質問者・足立 凜 議員	-----	23
答弁者・寺岡 悌二 教育長	-----	23
浜田 博 市長	-----	24
(休憩・再開)	-----	25
質問者・澤本 快 議員	-----	25
答弁者・永井 正之 生活環境部長	-----	25
浜田 博 市長	-----	26
質問者・川口 晃季 議員	-----	26
答弁者・糸永 好弘 建設部長	-----	27
浜田 博 市長	-----	28
質問者・竹田 希帆 議員	-----	28
答弁者・大野 光章 企画部長	-----	29
浜田 博 市長	-----	29
質問者・佐藤 星来 議員	-----	30
答弁者・永井 正之 生活環境部長	-----	30
浜田 博 市長	-----	31
質問者・高峰 葵子 議員	-----	32
答弁者・寺岡 悌二 教育長	-----	32
浜田 博 市長	-----	33

	質問者・田 上 和 議員	-----	33
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	-----	34
	浜 田 博 市長	-----	35
	質問者・荒 金 奏 羽 議員	-----	35
	答弁者・永 井 正 之 生活環境部長	-----	36
	浜 田 博 市長	-----	36
	質問者・西 村 早耶香 議員	-----	37
	答弁者・永 井 正 之 生活環境部長	-----	38
	浜 田 博 市長	-----	38
	(休憩・再開)	-----	39
・ 提言の発表	提言者・有 田 双 葉 議員	-----	39
	答弁者・浜 田 博 市長	-----	40
	提言者・恒 松 皇 樹 議員	-----	40
	答弁者・浜 田 博 市長	-----	41
	提言者・平 江 天 希 議員	-----	42
	答弁者・浜 田 博 市長	-----	42
	提言者・加 藤 隼 哉 議員	-----	43
	答弁者・浜 田 博 市長	-----	43



- ・ 議員提出議案第 1 号子ども宣言について、上程----- 44
- ・ 提案理由説明-----北 原 收 真 議員----- 44
- ・ 表 決----- 45
- ・ 閉 会----- 46

[ 閉 会 式 ] 目 次

- ・ 開 会----- 47
- ・ 市長あいさつ-----浜 田 博 市長----- 47
- ・ 記念品の贈呈-----寺 岡 悌 二 教育長----- 48
- ・ 子ども議員代表者謝辞-----永 松 文 議員----- 48
- ・ 閉 会----- 49

## 第10回「べっぷ子ども市議会」会議録

---

○会 期 平成24年 7月31日(1日)

---

○会期日程表

平成24年 7月31日(火) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

---

○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

平成24年 7月31日 原案可決

---

○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	9番議員 朝日小学校 浅井 茄琳	温泉を利用した発電計画について
2	2番議員 南小学校 福山 美羽	別府市民がつながるための取組について
3	1番議員 境川小学校 山口 萌恵	APUの人たちとの交流について
4	15番議員 別府中央小学校 阿比留 知映	子どもがもっと安心して遊べる川にできないかについて

5	7番議員 亀川小学校 武本大輝	地獄めぐりのお客さんの増加に伴う駐車場の整備について
6	8番議員 上人小学校 三浦航貴	高齢化社会に備えた福祉施設等の充実について
7	13番議員 大平山小学校 足立凜	学校に温泉を生かしたものができないかについて
8	4番議員 青山小学校 澤本快	別府市のごみ置場の設置について
9	5番議員 南立石小学校 川口晃季	人通りが少ない道路に街灯を増やすなど、安心、安全なまちづくりについて
10	10番議員 石垣小学校 竹田希帆	スピード違反、飲酒運転をなくす取組について
11	14番議員 東山小学校 佐藤星来	志高ユートピアの今後の利用について
12	3番議員 西小学校 高峰葵子	教室の有効活用について
13	11番議員 春木川小学校 田上和	学校へ安全に通うための歩道や歩道橋の整備について

14	6番議員 鶴見小学校 荒金奏羽	エコキャップ運動を推進している市の自然環境に配慮した取組について
15	12番議員 緑丘小学校 西村早耶香	市民みなでごみを拾う活動について

○提言者一覧表

提言順位	提言議員	提言内容
1	19番議員 東山中学校 有田双葉	通学路にある危険とその改善について
2	18番議員 浜脇中学校 恒松皇樹	みんなでサッカーができるような公園の整備について
3	17番議員 北部中学校 平江天希	伝統工芸の竹細工をもっと身近なものにするために
4	16番議員 山の手中学校 加藤隼哉	観光客がたくさん訪れてくれるような“べっぶ”にするために





## 第10回「べっぷ子ども市議会」会議録（第1号）

平成24年 7月31日

○出席議員（23名）

1番議員	境川小学校	山口萌恵さん
2番議員	南小学校	福山美羽さん
3番議員	西小学校	高峰葵子さん
4番議員	青山小学校	澤本快君
5番議員	南立石小学校	川口晃季君
6番議員	鶴見小学校	荒金奏羽さん
7番議員	亀川小学校	武本大輝君
8番議員	上人小学校	三浦航貴君
9番議員	朝日小学校	浅井茄琳さん
10番議員	石垣小学校	竹田希帆さん
11番議員	春木川小学校	田上和さん
12番議員	緑丘小学校	西村早耶香さん
13番議員	大平山小学校	足立凜さん
14番議員	東山小学校	佐藤星来さん
15番議員	別府中央小学校	阿比留知映さん
16番議員	山の手中学校	加藤隼哉君
17番議員	北部中学校	平江天希君
18番議員	浜脇中学校	恒松皇樹君
19番議員	東山中学校	有田双葉君
20番議員	朝日中学校	永松文さん
21番議員	青山中学校	北原收真君
22番議員	中部中学校	西岡冬威君
23番議員	鶴見台中学校	岩田優里さん

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市 長	浜 田 博 君	副 市 長	友 永 哲 男 君
副 市 長	阿 南 俊 晴 君	教 育 長	寺 岡 悌 二 君
水道企業管理者	亀 山 勇 君	総 務 部 長	釜 堀 秀 樹 君
企 画 部 長	大 野 光 章 君	ONSENツアーズ部長	亀 井 京 子 君
建 設 部 長	糸 永 好 弘 君	生 活 環 境 部 長	永 井 正 之 君
福 祉 保 健 部 長	伊 藤 慶 典 君	消 防 長	渡 邊 正 信 君
教 育 次 長	豊 永 健 司 君	学 校 教 育 課 長	古 田 和 喜 君

○主催者等出席者

別 府 市 議 会 議 長	松 川 峰 生 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 会 長	首 藤 正 君
別 府 市 子 ども 会 育 成 会 連 合 会 会 長	池 辺 栄 治 君
別 府 市 P T A 連 合 会 会 長	和 田 俊 二 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 副 会 長	永 井 正 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 事 務 局 長	猿 渡 久 子 君
別 府 市 議 会 子 ども 会 を 支 える 議 員 連 盟 事 務 局 理 事	市 原 隆 生 君

○議会事務局出席者

局	長	檜垣伸晶	参	事	宮森久住
次	長	小野大介	次	長	浜崎憲幸
主	査	河野伸久	主	任	溝部進一
主	任	甲斐俊平	主	任	波多野博
主	任	池上明子	主	事	山本佳代子

○議事日程（第1号）

平成24年 7月31日（火曜日） 午前9時10分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提言

第6 子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）



○市議会事務局長（檜垣伸晶君） おはようございます。

開会式に先立ちまして、子ども議員皆さんの記録用写真を撮影しますので、子ども議員の皆さん方は、議長席の方を見てください。

傍聴席の皆さま並びに主催者の皆さま方は、恐れ入りますが、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[ 写 真 撮 影 ]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただ今から、第10回「べっぷ子ども市議会」開会式をとり行います。

はじめに、主催者並びに関係者の皆さまをご紹介させていただきます。

浜田 博 別府市長です。

松川峰生 別府市議会議長です。

首藤 正 別府市議会子ども会を支える議員連盟会長です。

池辺栄治 別府市子ども会育成会連合会会長です。

和田俊二 別府市PTA連合会会長です。

別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長の永井 正議員です。

同じく事務局長の猿渡久子議員です。

同じく理事の市原隆生議員です。

以上を代表し、松川峰生 別府市議会議長より、皆さんにごあいさついたします。

○市議会議長（松川峰生君） 皆さん、おはようございます。

本日、いよいよ「べっぷ子ども市議会」が始まります。

この日のために皆さんは、別府市の子どもたちの代表として、勉強をしてきたと思います。

緊張しているとは思いますが、日頃皆さんの目を通して感じたこと、思っていることを率直に一般質問や提言で発表していただけたら良いと思っております。

本日、私も皆さんの質問や提言を非常に楽しみにしております。私たちが行っている本会議と同じように準備もいたしました。



そして、浜田市長や副市長、教育長、部長も皆さんの質問や提言に答えてくれると思います。

本日のこの貴重な経験を大事にして、市議会や市役所の仕事に関心を持っていただきたいと思います。将来、別府市の発展のためにご協力いただければと思っております。

終わりにになりましたが、本日の子ども市議会の開催にあたり、大変ご尽力いただきました、先生方、PTA、並びに市子連の皆さま方に対し、心から感謝申し上げます、私のあいさつといたします。

本日はどうぞ力をぬいて、一生懸命皆さんの質問や提言をしていただければと思います。私たちも楽しみにしております。最後までがんばってください。

○市議会事務局長（檜垣伸晶君） ありがとうございます。

以上をもちまして、開会式を終了いたします。

続きまして、子ども市議会の議長及び副議長の選出については、あらかじめ決定されておりますので、ご紹介させていただきます。

議長は、鶴見台中学校の岩田優里さんです。

岩田さんは、議長席までお越しくください。

続きまして、副議長は中部中学校の西岡冬威君です。

西岡君は副議長席までお越しくください。

それでは、議長と副議長が席に着かれましたので、岩田議長よろしく願いいたします。

---

午前9時10分 開会

○議長（岩田優里さん） おはようございます。

先ほどご紹介をいただきました、議長の鶴見台中学校 岩田優里と、副議長の中部中学校 西岡冬威君です。

私たちのまち別府が希望に満ちた、住みよいまちになるように、今日の子ども市議会をがんばりたいと思いますので、子ども議員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、本日は、市長さん、市議会議長さんをはじめ、多くの関係者の皆さんにご出席をいただきありがとうございます。

それでは、ただいまより、子ども市議会を開会いたしたいと思いますので、出席議員数の報告をお願いします。

○市議会事務局（山本佳代子さん） 人員のご報告を申し上げます。議員定数23名、現在員23名であります。

○議長（岩田優里さん） 第10回「べっぷ子ども市議会」は成立いたしました。

これより会議を開きます。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げていただきます。

○市議会事務局（山本佳代子さん） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、呼ばれた方は「はい」と返事をし、その場でご起立を願います。

1番議員	境川小学校	山口萌恵さん
2番議員	南小学校	福山美羽さん
3番議員	西小学校	高峰葵子さん
4番議員	青山小学校	澤本快君
5番議員	南立石小学校	川口晃季君
6番議員	鶴見小学校	荒金奏羽さん
7番議員	亀川小学校	武本大輝君
8番議員	上人小学校	三浦航貴君
9番議員	朝日小学校	浅井茄琳さん
10番議員	石垣小学校	竹田希帆さん
11番議員	春木川小学校	田上和さん
12番議員	緑丘小学校	西村早耶香さん
13番議員	大平山小学校	足立凜さん
14番議員	東山小学校	佐藤星来さん
15番議員	別府中央小学校	阿比留知映さん

16番議員 山の手中学校 加藤隼哉君  
17番議員 北部中学校 平江天希君  
18番議員 浜脇中学校 恒松皇樹君  
19番議員 東山中学校 有田双葉君  
20番議員 朝日中学校 永松 文さん  
21番議員 青山中学校 北原收真君  
22番議員 中部中学校 西岡冬威君  
23番議員 鶴見台中学校 岩田優里さん

○議長（岩田優里さん） ただいま、読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、  
2番 福山美羽さん  
15番 阿比留知映さん

以上、2名の方々にお願いをいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。

お諮り<sup>はか</sup>いたします。

子ども市議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（岩田優里さん） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は、本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により、一般質問を行います。一般質問者は15名です。質問順位により、一般質問を行います。

最初に、9番議員、朝日小学校の浅井茄琳さんの一般質問をお願いいたします。

[9番議員 浅井茄琳さん、登壇]

○9番議員（浅井茄琳さん） 昨年の東日本大震災から、原子力発電所の問題で節電が求められています。

温泉で有名な別府市では、温泉のエネルギーを電気に変えることができれば、

別府の人たちは電力の心配のない暮らしができるのではないのかと考えました。

市内には、地熱発電をしているホテルもあります。また、温泉のパイプの一部に小型発電機を設置する「湯けむり発電」や、温泉のお湯を使った「温度差発電」なども考えられています。静岡県熱海市<sup>あたみ</sup>では、温泉を使った温度差発電に取り組んでいると聞きました。温泉を使えば発電の燃料費もかかりません。

そこで質問です。別府市では、市内の各地に温泉を使った小さな発電所を多数設置し、街灯や学校、公民館や図書館、消防署や市役所等の電気に温泉で発電した電力を積極的に活用していく計画はありますか。また、市民に安く電気を供給し、別府市の収入にするなどのお考えはありますか。教えてください。お願いします。

○議長（岩田優里さん） 企画部長。

○企画部長（大野光章君） お答えいたします。

浅井議員のご指摘のとおり、東日本大震災以降、新エネルギーの活用が注目されています。なかでも地熱エネルギー、これにつきましては地熱発電、昼夜を問わず天候にも左右されない安定した発電ができる純国産エネルギーとして注目されています。別府市としても大分県や大学、民間企業などから情報収集をし、その動向に注目しています。

また、7月1日より地熱発電のような再生可能エネルギーを利用して発電された電気について、一定の期間、一定の価格で電気事業者が買取ることを義務付けた国の制度が始まりました。

このような取り組みにより、近い将来別府市のいたるところで温泉熱を利用した小規模発電が行なわれるよう、別府市でも支援をしていき、まちづくりを進めていきたいと考えています。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 9番、浅井茄琳議員のご質問にお答えいたします。

最初から大変すばらしい質問をいただきました。

最近のニュース番組でもよくでていますが、別府市でも民間企業グループによる温泉の熱湯や蒸気を利用した「湯けむり発電」の開発が行われています。その会社の社長さんによると、この「湯けむり発電」は熱湯と蒸気で電気を発

電するシステムだそうです。

別府市が日本一の泉源数と湧出量<sup>ゆうしゅつりょう</sup>を誇る温泉地<sup>ほこ</sup>であることは、皆さんご存じだと思います。今年度末には製品化できるのではないかということです。

別府市が地熱発電<sup>はっしょう</sup>発祥の地<sup>はっしょう</sup>ということをご存知ですか。別府市から始まっているんですね。このことを皆さんも記憶してほしいと思います。現在も鉄輪地獄地帯公園の中に日本最初の地熱発電施設<sup>あとし</sup>の跡地が残っています。地熱発電<sup>はっしょう</sup>発祥の地<sup>はっしょう</sup>としても、温泉を利用した発電施設<sup>ふきゅう</sup>の普及については当然取り組まなければならないと思っています。地熱発電<sup>ふきゅう</sup>の普及を通して再生可能エネルギーへの転換<sup>こうけん</sup>に貢献していきたいと思っています。

温泉と言えば「べっふ」、地熱発電と言えば「べっふ」と日本中にアピールできるように、エネルギー行政を推進していきたいと思っております。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 浅井さん。

○9番議員（浅井茄琳さん） 初めて知ったことがありました。ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 次に、2番議員、南小学校の福山美羽さんの一般質問をお願いいたします。

[2番議員 福山美羽さん、登壇]

○2番議員（福山美羽さん） 私の南小学校では、スローガン「笑顔輝く本気の南っ子」の達成を目指して活動しています。そのためには、全校が仲良くなることが大切であり、学年をこえて友達になれば、本当に仲良しの学校が作れると思っています。

そこで考えたのが「遊び週間」と「あいさつ運動」です。遊び週間は全校児童が自由に参加でき、まだ学校に慣れていない人もみんなと楽しく遊べて仲良くなれると思っています。あいさつ運動では、あいさつをすると気持ちの良いスタートが切れ、話をするきっかけにもなると思うので、今も続けています。でも、恥ずかしかったり、緊張したりして、まだあいさつをためらう人がいます。

そこで質問です。別府市では、別府市民が仲良くなったり、つながったりす



るためにどのような取り組みを行っていますか。それは私たち南小学校運営委員会の今後の活動のヒントになると思うので教えてください。お願いします。

○議長（岩田優里さん） 企画部長。

○企画部長（大野光章君） お答えいたします。

あいさつ運動、非常に良いことだと思います。今後も続けていただきたいと思います。市役所は市民の皆さんが安全で快適に過ごせるように、暮らしに必要な道路や建物を作っています。それから、環境整備のためにごみ収集、体の不自由な人やお年寄りの生活のお手伝いなどを行っています。

その他にも、地域で暮らす人が目的に応じて自由に使える場所の提供を行っています。

たとえば、児童館は、子育て中のお母さんが、同じように子育てをしているお母さんと知り合いになり、お互いの悩みを相談したり情報を交換したりする場所になっています。他にも、公民館では子供からお年寄りまで、講師の先生のお話を聞いたり、興味のある活動に参加したりすることで、参加者同士が知り合いになり、交流を広げるきっかけとなっています。

また、別府市では、市の職員や市民の皆さんと力を合わせ、もっと住みやすいまちづくりをするために「協働<sup>きょうどう</sup>」という取り組みを進めています。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 2番、福山美羽議員のご質問にお答えいたします。

南小学校では、「笑顔輝く本気の南っ子」というスローガンですね、「遊び週間」と「あいさつ運動」を通して、全校児童が仲良くなれる取り組みをされているということで、大変素晴らしい活動をされていると感心いたしました。

同じように別府市でも、市役所・市民・企業の皆さんが一緒になって、住みよいまちをつくるために、「協働<sup>きょうどう</sup>」という取り組みを進めています。この取り組みに参加する人は、お互いに立場は違いますが、自分たちの住むまちを良くしたいという思いは同じです。

別府市では既に9年前からまちづくりを真剣に考えていただいている市民同士をつなぐネットワークをつくり、互いの情報の交換や交流を深めていただいております。

今後も、「協働」によるまちづくりを進めるために、市の職員や市民の皆さんにも自分がまちづくりの主役であるという意識を持ってもらい、みんなが参加できる仕組みづくりをしていこうと思っております。

福山議員も自分たちの学校を自分たちで良くしていこうという気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 福山さん。

○2番議員（福山美羽さん） 私たちも協働という言葉で、これからも活動を続けていきたいと思えます。ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 次に、1番議員、境川小学校の山口萌恵さんの一般質問をお願いいたします。

[1番議員 山口萌恵さん、登壇]

○1番議員（山口萌恵さん） 別府市には、APUや別府大学があり、たくさんの外国の人たちが留学してきます。私は父の仕事の関係で、何度か引っ越しをしていますが、こんなに身近に外国の人たちと触れ合える所は初めてです。

先日、私はスリランカの人たちとスリランカのやり方でお正月をお祝いしました。スリランカの料理やお菓子を食べて、みんなで遊びたくさんの話を聞くことができました。食事や衣服、文化などを知ることができ、本当に貴重な体験ができました。

小学校の授業でも外国語活動が本格的に行われています。私も外国のことに興味を持ち、外国の文化や伝統について知りたいと思っています。周りの友達も同じ願いをもっているようです。色々な国の人たちと交流を深めることで、国際化社会に対応できる人間になりたいと思っています。

そこで質問です。APUなどの留学生と小学校が交流できるよう、大学と各小学校間を移動するためのバスの費用の補助をお願いできないでしょうか。

○議長（岩田優里さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

外国からの留学生と身近に触れ合えるという別府市の特徴を生かして、色々な国の人たちと積極的に交流をしたいという山口議員の願いを伺い、大変うれ

しく思います。

さて、バス費用については、大分県教育委員会がAPUや別府大学などの大学キャンパスでの交流に対し、バス借上料の2分の1以内、4万円を上限として補助する「小学生国際交流事業」を行っています。

別府市の国際交流につきましては、外国からの留学生が市内の小中学校に行き、自分の国の言葉や歌などの文化を紹介する「国際理解教室」を実施しています。昨年度は、のべ158人の留学生を講師として、市内小中学校でのべ58回開催しております。別府市としては、この事業によって、外国人留学生とたくさんのお小中学生の皆さんとの交流が活発にできるよう、今後も努力していきたいと思っております。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 1番、山口萌恵議員のご質問にお答えします。

山口議員が、スリランカの方々とお正月を過ごしたお話を伺いましたが、とても貴重な経験だったと思います。また、外国の文化への興味をもち、国際社会に対応できる人間になりたいという目標をもっていることは、とても素晴らしいことだと思います。

別府市には、外国人留学生と小中学生との国際交流の取り組みとして、先ほど教育長がお話ししました、「国際理解教室」があります。この事業に参加するには、山口議員がぜひ外国人留学生と交流したいと先生に申し出てください。市役所には文化国際課があり、学校からの申し込みを受けて、国際理解教室を実施しています。

現在、別府市には83の国々から約3,050人の外国人留学生が生活しており、別府市は東京都をぬいて、人口に対する留学生の割合が日本一の国際交流都市になりました。この恵まれた環境を生かして、市内の小中学生の皆さんには、ぜひ積極的に留学生との交流を図り、国際理解を一層深めてほしいと思っています。

余談ですが、私は一遍上人がひらいたという鉄輪温泉で生まれ住んでいます。毎日上人湯に入っていますが、ここに来るベトナムの留学生5人と韓国の留学生1人と友達になり、いろいろな話を聞き交流をしています。ぜひ皆さんも留

学生に会う機会がありましたら、笑顔であいさつをして、仲良くなっていた  
きたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 山口さん。

○1番議員（山口萌恵さん） 外国の伝統や文化をもっと知り、国際化社会に対応  
できる人間になりたいと思います。ありがとうございました。これで質問を終わ  
ります。

○議長（岩田優里さん） 次に、15番議員、別府中央小学校の阿比留知映さんの一般  
質問をお願いいたします。

[15番議員 阿比留知映さん、登壇]

○15番議員（阿比留知映さん） 私たちが通う別府中央小学校の校区には、境川と別  
府湾があります。でも、境川で遊ぶことはほとんどありません。なぜかという  
と、ごみが捨てられていたり、洗剤の泡が流れていてとても汚いからです。時  
には油も浮いていて、藻も生えてぬるぬるして危なく、竹田や玖珠の川と違っ  
て自然の石もないため、生き物もそうたくさんいません。

そこで、生き物もたくさん住める川、私たち子どもも安全で気持ちよく遊べ  
る川に境川をしたいと思います。そんな川に近づけるために、別府中央小  
学校の児童会で川底をこすって藻をとったりごみを集めて分別したりしました。  
これがその時の写真です。

[境川清掃の様子を撮影した写真を見せる]

藻を取るとき、ブラシに藻がたくさん絡みついて、まるで藻で藻を洗うよう  
でした。川の色が緑でとても汚かったです。

私たちが一生懸命川底をこすった所はきれいになりましたが、生活排水や油、  
洗剤はどんどん流れてきます。私たちだけで自然の川に戻すのは難しいと思  
いました。

そこで質問です。境川をきれいにするボランティアを募集したり、自然の川  
に戻すための工事をしたり、生活排水を流さないようにすることはできないで  
しょうか。教えてください。お願いします。

○議長（岩田優里さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（永井正之君） お答えいたします。

別府市では、豊かな自然や温泉資源を守り自然と共生<sup>きょうせい</sup>する社会の実現を目指しまして、環境を守る計画を作っています。

平成22年度に「第2次別府市環境基本計画」を作りました。10年後の別府市を考えて作りましたこの計画には「大気・水質の保全」という項目を設けています。川をきれいにするための成果目標も定めていまして、点検できるしくみを作っています。この計画の実施に加えて、今後は生活排水など家庭から出る汚れが川の中に少しでも入らないように、公共下水道の整備を進めて、境川をきれいな川へ戻したいと考えています。

別府中央小学校の皆さんや「境川を守る会」の方々を模範として、ボランティアの輪が市内に広がることを期待しています。また、市民の皆さんの環境美化意識の向上<sup>はか</sup>を図るために、川の水をきれいにする工夫をもっと知っていただくために、市報等を通じてお知らせしていきたいと考えています。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 15番、阿比留知映議員のご質問にお答えいたします。

阿比留議員をはじめ別府中央小学校の皆さんや「境川を守る会」などの地域の方々が、境川をきれいにしようと頑張っていることに大変うれしく思います。また、後世の人に地域の川をきれいな状態で引き継いでいくための環境美化活動を続けられていることに、頭が下がる思いがいたします。

先ほど部長が答弁しました第2次別府市環境基本計画にのっとり、市民や事業所の皆さんにごみのポイ捨て禁止や川の汚れを少しでも減らしていただく工夫をお願いし、また、自主的に地域の公園や川をきれいにしていただくための環境づくりや人づくりを進めたいと考えています。

自然景観を守って、別府の豊かな自然を継承していくためには、市はもとより市民や事業所の皆さんの協力や連携が必要になると思っています。「住んでよし、訪れてよし」の環境みらい都市の実現に向けて、全市を挙げて取り組んでいくことにご協力いただきたいと思っています。

また、阿比留議員さんには今後も積極的に境川の美化活動に取り組んでいただくようお願いいたします。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 阿比留さん。

○15番議員（阿比留知映さん） ありがとうございます。これからも境川の掃除をがんばりたいと思います。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 次に、7番議員、亀川小学校の武本大輝君の一般質問をお願いいたします。

[7番議員 武本大輝君、登壇]

○7番議員（武本大輝君） ぼくの通う亀川小学校の校区には、血の池地獄と龍巻地獄があります。近くを通りかかると血の池地獄と龍巻地獄の間の歩道がせまく、観光客の方が道路にはみ出して歩き、とても危険でした。

そのような中、今年のゴールデンウィーク中、血の池地獄の駐車場に入る車で道路が渋滞していました。ところが、すぐ近くの龍巻地獄の前の広い駐車場はすいていました。大きな看板を立て、奥に広い駐車場があることをわかりやすくすると良いと思います。

また、特に渋滞する時は、空き地を利用し、いくつかの臨時駐車場を作り、地獄めぐり専用のバスを出してはどうでしょうか。そうすれば、マイカーの移動が減り、渋滞緩和につながると思います。

さらには、高速道路から近い、地獄地帯公園のあたりに、車に乗っている人が見えるような大きな駐車場マップを作ってみてはいかがでしょうか。

そこで質問です。地獄めぐりのお客さんの増加に伴い、駐車場や案内板などをさらに整備していくなどの計画はありますか。教えてください。お願いします。

○議長（岩田優里さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（亀井京子君） お答えいたします。

臨時駐車場の設置に伴う専用バスの活用につきましては、関係する団体として、旅館ホテル組合連合会やバス会社などと相談しながら、運行の可能性について、調査及び研究を行いたいと思います。

また、大きな駐車場マップや案内看板の設置につきましては、事前の駐車場情報などを提供することが重要と考えています。別府に来られるお客様が少し

でも当日の観光がしやすくなるよう、新聞、雑誌、インターネットなどを活用して情報の提供を行っていますが、今後とも提供の方法や情報の内容の調査研究を重ねたいと考えています。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 7番、武本大輝議員のご質問にお答えいたします。

皆さまご承知とは思いますが、別府市の主な産業は観光でございます。そのような中で、武本議員の観光客の方々の気持ちに立ったご質問、大変うれしく思います。

特に観光シーズンにおける車の渋滞は、観光客の方々だけでなく、市民生活にも大きな影響を及ぼす問題だと思っています。武本議員のご質問にありました駐車場や案内板の整備計画については、まず、今ある駐車場の効果的な利用と情報提供を行うことで解決していくよう、関係団体とも話し合っていきたいと思っています。

市民憲章<sup>けんしょう</sup>にも「お客さまをあたたかく迎えましょう」という言葉があります。多くの市民が武本議員のようにおもてなしの気持ちを持ってお客さまをお迎えすることが、別府観光にはとても大切なことだと思っています。これからもその気持ちを持ち続けていただければと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 武本君。

○7番議員（武本大輝君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 次に、8番議員、上人小学校の三浦航貴君の一般質問をお願いいたします。

[8番議員 三浦航貴君、登壇]

○8番議員（三浦航貴君） 最近、高齢化社会という言葉をよく耳にします。別府市も例外ではなく、高齢化率24.6%と非常に高いです。そして、これからも高齢化率が上がることが予想されます。

ぼくの祖父は毎日運動のためにウォーキングをしています。高齢になるにつれ、トイレや段差のことが気になり、外出が心配になったそうです。僕の家のみならず、道路に段差が多く、歩道がない所もたくさんあります。これで

は、体の不自由な人や高齢者が外出するのに困難だと思います。

また、公園に身障者用トイレがないことも気になります。体の不自由な方や高齢者の人こそ、家に引き込まらずに外出して社会とつながってほしいと思います。そのためには、公園に身障者用トイレを設置したり段差をなくしたりして、安心して外出できるように整備することが大切です。

そこで質問です。別府市として、バリアフリー化についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

○議長（岩田優里さん） 企画部長。

○企画部長（大野光章君） お答えいたします。

ご質問の件は、別府市が目指すまちの将来像への重要な条件と考えています。住んでいる人たちがいかに「別府は住みやすい」、「安全で安心なまち」であると感じれるかということです。

具体的に別府市では、計画的に公園や公共施設に誰もが使いやすい多目的トイレの設置をしています。

またこのほかにも、車いすの方や高齢者が利用しやすいように道路と歩道の段差をなくす取り組みなども計画的に行っています。

今後とも、年齢や障がいの有無などに関らず、多くの人が「住みやすい」と感じるまち、安全・安心に暮らせるまちになるように整備を進めていきたいと考えています。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 8番、三浦航貴議員のご質問にお答えいたします。

三浦議員のおじい様や体の不自由な方を思う気持ちは大変大切なことだと思います。自分のまちを住みやすくしたいと思う気持ちは別府市がまちの将来像として目指す、「住んでよし、訪れてよし、アジアをむすぶ O N S E N 都市」へつながるものであります。

三浦議員のご質問のとおり、別府市にはご高齢の方や体の不自由な方が多くいらっしゃいます。

先ほど部長がお答えしましたが、別府市では多目的トイレや歩道の整備、道路と歩道の段差をなくす工事を計画的に進めています。



また、「障がいのある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例」の制定を進めています。この条例を簡単に説明しますと、「障がいのある人もない人も、等しく基本的人権を有するかけがえのない個人として尊重そんちょうされるものであり、同じ時代の同じ地域で暮らしていく仲間として、心を開き、理解し合い、支え合う心の配慮はいりよが最も尊とうといことである」との考えによるものです。

これからも住む人、訪れる人にやさしいまちづくりを進めていきたいと思えます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 三浦君。

○8番議員（三浦航貴君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 次に、13番議員、大平山小学校の足立凜さんの一般質問をお願いいたします。

[13番議員 足立凜さん、登壇]

○13番議員（足立凜さん） 別府は、日本一の湧出量ゆうしゅつりょうを誇る国際観光温泉文化都市です。私たちの学校からは湯けむりもたくさん見え、その景色は自慢の一つです。

でも、家には温泉のない人の方が多く、温泉のありがたさを、もっと身近に感じることはできないかと考えました。

先日、テレビで、お茶の産地の学校で、水道からお茶が出て飲めると紹介されていました。それを見て、私たちの学校に、何か温泉を生かしたものができたら、日本一の温泉のまちということが実感でき、自慢が増えるのではないかと思います。

たとえば、冬の掃除で温泉のお湯が使える、温水プールで泳げる、自分たちで育てた野菜を温泉の蒸気で調理できる、そんなことが実現したらすてきなと思います。

こんな夢が可能なのかどうか質問したいと思います。可能なら私たち小学生のアイデアを聞いて実現してもらえたらうれしいです。

○議長（岩田優里さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

温泉が湧き出る学校、その温泉を掃除や体育の水泳、家庭科の調理実習など教育活動に利用する。とてもすばらしいアイデアだと思います。学校にそのような温泉施設があれば、温泉をもっと身近に感じ、また、学校に行くことがさらに楽しく感じられるかと思います。

実際、昔の別府の学校では、温泉が利用されていた時期もありました。湧き出るお湯を使って掃除をするなど、まさに別府ならではの学校が存在していました。

温泉に入ったり、利用したりすることはとてもいい学習だと思います。さらに、社会科や総合的な学習の時間に、地域のこと、温泉のことについて調べていくことを通して、温泉のありがたさやすばらしさをもっと身近に感じてほしいと思います。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 13番、足立凜議員のご質問にお答えいたします。

別府は日本一の湧出量ゆうしゅつりょうを誇る国際観光温泉文化都市です。別府八湯はつとうをはじめ、地域にも数多くの温泉があります。先ほど温泉が湧き出る学校と提案がありました。教育長も答弁しましたが、私どもの時代の朝日中学校では、あたたかい弁当が食べられた、冬の掃除ではお湯でふき掃除をしていたことを思い出します。

温泉が効果的に使える学校は別府市にしかできないと思いますので、良い提言だと思いました。

温泉を身近に感じてもらえるよう、温泉祭り期間中や年末年始には観光客や市民の方に市営温泉を無料で開放していますし、鉄輪にある「地獄蒸し工房 鉄輪」では温泉の蒸気で調理できる「地獄蒸し料理」も体験できます。

また、市内には、温泉が飲める飲泉場が何ヶ所もありますので、ぜひ一度飲んでみてください。

足立議員にもぜひ地域の温泉に入ったり、地獄蒸し料理を体験したりしていただき、別府の温泉のすばらしさをより多くの方に宣伝してもらいたいと思います。温泉を想う気持ち、別府を想う気持ちをこれからも大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 足立さん。

○13番議員（足立凜さん） とても勉強になりました。ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（岩田優里さん） 休憩いたします。

午前 10時00分 休憩

午前 10時15分 再開

○副議長（西岡冬威君） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を行います。

4番議員、青山小学校の澤本快君の一般質問をお願いいたします。

[4番議員 澤本快君、登壇]

○4番議員（澤本快君） ぼくは、ごみが家の前に並び、散らかっているのを見るたびに、汚いなあ、こんなことはやめてほしいと思います。

ぼくが住んでいる所には、きちんとしたごみ置場があり、全員がきまりを守っているのです、いつもきれいです。しかし、登校途中には、一軒ごとに緑色のごみ袋が並べられています。並んでいるだけでもきれいには見えないのに、カラスがごみ袋を食い破って、道にごみを大量に散らしていることもよくあります。臭いし不潔です。道にごみ袋を並べているのは、気持ちがいいものではありません。観光客がたくさん来る別府市として、対策が必要ではないかと思えます。

そこで質問です。一軒一軒が、ごみの出し方をきちんとすることはもちろん大切ですが、別府市として、計画的にごみ置場を作っていくことはできないでしょうか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 生活環境部長。

○生活環境部長（永井正之君） お答えいたします。

まず別府市の現状から説明させていただきます。

別府市のごみの収集方式は、自宅前の道路上に出していただく「路線収集方式」と、各地域に設置されているごみ集積場に出していただく「ステーション方式」を併用しています。「路線収集方式」が約9,000ヶ所、「ステーション方式」が約3,400ヶ所あります。

新しくごみ集積場を設置するためには、設置場所の確保等、地域で様々な課題がありますが、今後、各自治会等と協議を重ねながら、ごみ集積場の計画的な設置につきまして検討をしていきたいと考えています。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 4番、澤本快議員のご質問にお答えいたします。

澤本議員におかれましては、日頃より、別府市の街並みの美化に関心を持っていただき、ありがとうございます。

このごみ出しの問題につきましては、高齢化社会が進む中、市民の皆さまより、「ごみを遠くまで持って行くのは大変だ。」とのご要望が多く、現在のような自宅前に出す方式を採用しています。

しかしながら、澤本議員が言われるとおり、別府市は国際観光温泉文化都市であり、ごみのないきれいなまちで観光客の皆さまをお迎えすることは、非常に大切なことだと思っています。

このごみ出しの問題や、カラス等による散乱ごみの問題を解決するためには、市民の皆さまのご理解とご協力がなければできないと思っております。

これからも、市民の皆さまと協力して、多くの観光客が、「別府はきれいなまちだなあ。また、来てみたい。」と思っただくような美しいまちづくりに全力で取り組んでいきたいと思っています。

澤本議員におかれましても、ご協力いただきますようお願いいたします。これからも、きれいな「まち」を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 澤本君。

○4番議員（澤本快君） ありがとうございます。これからは自分でもごみ問題について考えていきたいです。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、5番議員、南立石小学校の川口晃季君の一般質問をお願いいたします。

[5番議員 川口晃季君、登壇]

○5番議員（川口晃季君） ぼくは、人通りが少ない場所や夜暗い場所に街灯を設置してほしいと願っています。

その理由は、ぼくの経験からです。ぼくが、サッカーの練習を終え、夜、暗くなって一人で帰っているとき、1ヶ所暗い場所を通ります。そこで段差につまずいたり、危ない思いをしたことがあります。また、暗い中、後ろから人がついてきたときに怖い思いをしたこともありました。

このような思いを、ほかの人にしてほしくないので、人通りが少ない場所、暗い場所には街灯を設置してまちを明るくし、みんなが、安全に通行できるようにしてほしいです。

別府のまちが明るくなると、事故を防ぐことにもつながり、みんなが安心して暮らすことができると思います。

また、別府を訪れるお客さんも、安心して温泉やまちの観光を楽しめ、別府を「いいまちだなあ。」と好きになってくれると思います。

そこで質問です。安全なまちづくりのために新たに街灯を設置する計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 建設部長。

○建設部長（糸永好弘君） お答えいたします。

川口議員のご質問の街灯について、最初に別府市内の設置状況を少しお話しさせていただきます。

市内には現在広い道路を照らす水銀灯や、道路の交差点を照らすナトリウム灯と呼ばれるもの、また、家の周辺の道路を照らす街路灯・防犯灯が全部で約7,700基ほど設置されています。この中で蛍光灯型の街灯が約5,500ヶ所と一番多く設置されており、川口議員のご質問のように、何とかこれを明るくできないか検討した結果、別府市ではLED型街灯に取り換える事業を行っております。

このLED照明の特徴は、少ない消費電力で明るい、長持ちする、発熱量が少ないなど効果があり、節電対策や地球温暖化問題の解決など期待できるものと思っております。

また、ご質問の暗い場所の街灯設置についてですが、暗くて危険な場所や防犯上必要な場所には、自治会の皆さんの要望により毎年街灯を設置しております。

今後とも、皆さんが安心して暮らすことができるように、努力していきたい  
と思います。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 5番、川口晃季議員のご質問にお答えいたします。

私は市民の皆さまに、安全・安心のまちをつくるために、「街灯や防犯灯の  
設置をしっかりとやります。」とお約束いたしております。

先ほど建設部長よりお答えいたしましたように、市内の街灯約5,500ヶ所を平  
成26年度までに全てLED照明に切り替えることに取り組んでいるところです。  
今後も安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

川口議員のご質問は、人通りが少ない場所で怖い思いをし、夜暗い場所で危  
険な思いをした、他の人にはこのような思いをしてほしくないの、街灯を設  
置して明るくしてほしいという、とてもやさしい気持ちを持っていますね。こ  
の気持ちをいつまでも大切にしてほしいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 川口君。

○5番議員（川口晃季君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、10番議員、石垣小学校の竹田希帆さんの一般質問を  
お願いいたします。

[10番議員 竹田希帆さん、登壇]

○10番議員（竹田希帆さん） 私は、安心、安全なまちづくりについて、その中でも、  
スピード違反、飲酒運転をなくす取り組みは、どうあればいいのかということ  
に興味をもっています。

私のマンションの前にある道路には、よくパトカーがとまり、ドライバーが  
交通ルールを守っているかどうか見ていることがあります。交通違反をする人  
が多い時は、何度もサイレンがなります。

他の県では、今年になってから、朝の登校時に子どもたちの列に車が突っ込  
み、子どもたちが命を落としたり、大ケガをしたりしたというニュースがあり  
ました。道路の歩き方や自転車の乗り方など、私たちも守らないといけない交  
通ルールがたくさんありますが、交通ルールを守って道路を歩いている、い

つ事故にあうかと考えると怖いです。

そこで質問です。私たちが安心・安全に過ごせるために別府市としてどのような取り組みをしていますか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 企画部長。

○企画部長（大野光章君） お答えいたします。

本市が行っている交通安全の取り組みの一つに春・夏・秋・冬と四季の交通安全運動があります。この運動は、季節ごとに10日間、市や県、各事業所、自治会の方々など、県民総ぐるみの運動として、期間中の早朝一斉<sup>いっせい</sup>に道路沿いに出て啓発運動を行うものです。

手には「速度注意」や「ダメ、飲酒運転」などと書かれたプラカードやのぼり旗を持ってドライバーに呼びかけを行っています。

その他、期間中、市の広報車で交通安全の呼びかけを行ったり、商業施設で買い物客にチラシを配るなどの啓発を行っています。

また、毎月20日を「飲酒運転根絶<sup>こんぜつ</sup>県民運動の日」と定め、市民に対して飲酒運転の危険性や飲酒運転による交通事故の実態を広くお知らせするとともに、交通安全教育や「飲んだらのれん運動」、自動車で飲食店に来て飲酒する際、飲まない人を決めておく「ハンドルキーパー運動」の普及啓発<sup>ふきゆう</sup>などを行い、市、市民及び事業者が一体となった運動を推進しています。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 10番、竹田希帆議員のご質問にお答えします。

本市では、普段から私が唱えております「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」を<sup>じっせん</sup>実践するためには、まず、だれもが「安全・安心」に暮らせる“まちづくり”の<sup>じっせん</sup>実践が大事であると思っています。

その中で、先ほど部長がお答えしたような市民の交通マナーの順守、飲酒<sup>こんぜつ</sup>運転根絶に向けた交通安全運動の取り組みを行っていく必要があると思っています。

竹田議員のご質問から、スピード違反者や飲酒<sup>ひきん</sup>運転者による悲惨な事故を無くすという、みんなの安全、安心を願う気持ちが伝わってきました。その気持ちを大切にしてください。

今後とも、飲酒運転の無い安全で安心して暮らせる市民生活を実現するため、警察へ取締り強化の依頼も行いながら、市民の皆さんには「飲んだらのれん運動」、「飲むなら乗るな」、このことを徹底して、飲酒運転根絶こんぜつに向けた取り組みをしていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 竹田さん。

○10番議員（竹田希帆さん） 私たちも歩道の歩き方など、交通ルールを守っていき  
たいと思っています。ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、14番議員、東山小学校の佐藤星来さんの一般質問を  
お願いいたします。

[14番議員 佐藤星来さん、登壇]

○14番議員（佐藤星来さん） 志高ユートピアは、前は、遊園地だったそうです。迷  
路やおばけやしきがあり、ラクテンチとリフトでつながっていたと聞いて、び  
っくりしました。

今のユートピアは、ごみがたくさんあり、クラスの人も「よくごみがある  
ね」と言っています。私も通りがかったときに、「またごみがある」といつも  
思います。

夏にはよく花火の燃えかすがあります。もし、きちんと消えてなくてごみに  
燃えうつり火事になったら大変だと思います。クラスの人が家の人から聞いた  
ところによると、そこは個人の土地だそうです。学校からも近いので、もし火  
事になったらと思うと心配です。

そこで質問です。志高ユートピアがあった土地を市が買い取り、自然がいつ  
ぱいの公園にすることはできないでしょうか。買い取りは無理でも、何かはた  
らきかけはできないでしょうか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 生活環境部長

○生活環境部長（永井正之君） お答えいたします。

佐藤議員が住んでいる東山地区に限らず、別府市内でのごみの不法投棄ふほうとうきは後  
を絶たず、対策に頭を悩ませているところでございます。

一部の心無い方の行為により、東山地区の自然環境やそこに暮らす方々の生



活環境が害されていることを大変残念に思っており、特に花火や煙草のポイ捨ては山火事の原因にもなり非常に危険であると思っています。

さて、買い取りについてですが、現時点では難しいと思っております。そこで志高ユートピアの跡地は民間の方が所有しています。その管理については、所有者の方と話し合っていきたいと思っています。

不法投棄<sup>ふほうとうき</sup>の対策につきましては、不法投棄禁止<sup>ふほうとうき</sup>の看板や監視カメラの設置、監視パトロールを実施していますが、さらに強化をして、不法投棄<sup>ふほうとうき</sup>の防止に努めて参りたいと思っております。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 14番、佐藤星来議員のご質問にお答えいたします。

佐藤議員におかれましては、日頃より、東山地区の環境美化に関心を持っていただきましてありがとうございます。

東山地区は豊かな自然環境に恵まれ、志高湖<sup>かぐらめこ</sup>や神楽女湖などの観光地もあり、多くの市民や観光客の皆さんが憩<sup>いこ</sup>いの場として訪れる地区でございます。

ご指摘していただいた志高ユートピア、私も昔はここで楽しく過ごした思い出がよみがえってきました。民間の方がもっていらっしゃいますので、何とか話をしっかりしながら有効な開発ができないかということで努力をしていきたいと思っています。

このごみ<sup>ふほうとうき</sup>の不法投棄の問題、志高ユートピアだけでなく、景観上の問題や環境悪化<sup>まね</sup>を招く大きな要因の一つだということを感じておりまして、佐藤議員もご承知だと思いますが、この問題を解決するには、市民の皆さま一人一人がむやみにごみを捨てないという気持ちになること、そしてルールを守り、豊かな自然に囲まれた美しい別府を、後世に残したいと思う気持ち<sup>はぐく</sup>を育むことが重要であると思っております。

佐藤議員におかれましては、今後とも美しい東山の自然を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 佐藤さん。

○14番議員（佐藤星来さん） 志高ユートピアがきれいになるといいと思います。あ

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、3番議員、西小学校の高峰葵子さんの一般質問をお願いいたします。

[3番議員 高峰葵子さん、登壇]

○3番議員（高峰葵子さん） 私の通う西小学校は、全校児童177人、各学年1クラスしかなく、普段使っていない教室があります。今後青山小学校との統合も予定されています。また、別府市内の他の小学校の中には、同じような教室があるそうです。

そこで、普段使っていない教室や施設をもっと有効に活用できないか考えました。私は1年生からバレーボールをしています。去年、他のチームと一緒に合宿をしようとお母さんたちが色々調べたところ、ホテルや旅館は金額が高く、また、体育館もあるところとなると場所が限られました。別府市には少年自然の家おじかがありますが、予約がなかなかとれません。

そこで、学校の普段使っていない教室や施設などを利用してはどうかと考えました。学校には、広いグラウンドや体育館やプールもあります。温泉を利用して、お風呂や足湯、トレーニング施設を作ったら、スポーツをする人だけでなく、地域の人たちの健康作りにも役立ちます。また、プロのチームや一流のアスリートたちが来たら、それを見に来る人たちがたくさん集まって活気が生まれます。さらに、学校は災害時の避難場所ひなんにもなっているので、もしそうなった時でも宿泊施設や温泉があればとても役立つと思います。

そこで質問です。普段使っていない教室や施設を有効活用する計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

学校は現在、地域の中でさまざまな役に立つ施設として有効活用されています。例えば子育てを支援する「放課後児童クラブ」、地域の方々の健康づくりのために「ストレッチ教室」の開催、社会人の方がスポーツなど行うといった社会体育にも利用されています。

また、一部の学校では、保護者や地域の方々と交流する場として施設を活用

しております。今後は、より多くの学校で、地震・津波等の災害の時に役立つ毛布、簡易トイレ、飲料水などを置く防災備蓄倉庫<sup>びちく</sup>を設置したり、地域の方と学校が話し合いをする場として活用したりするなど、さらに有効活用の幅を広げていきたいと考えております。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 3番、高峰葵子議員のご質問にお答えいたします。

高峰議員の学校の施設を別府市のために有効活用しようという考えに感心いたしました。

高峰議員の言われました「学校施設の有効活用」は、市全体で取り組んでいく大切なことです。体育館、運動場など学校の特色を生かした有効活用は素晴らしい視点だと思います。温泉や足湯のある学校は、別府らしさがあって素晴らしいと思います。現在の学校は、地域の中でさまざまな利用がされていると思いますが、今後もさらに地域の方々に愛されるような活用をしていきたいと考えております。

これからも高峰議員にあっては、別府市や西小学校を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 高峰さん。

○3番議員（高峰葵子さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、11番議員、春木川小学校の田上和さんの一般質問をお願いいたします。

[11番議員 田上和さん、登壇]

○11番議員（田上和さん） わたしたちの住む春木川小学校の校区には、九州横断道路と旧国道があります。わたしは、学校の行き帰りに、九州横断道路を横切っています。わたしが1年生のときには、母が毎日、九州横断道路を渡るまで送り迎えをしてくれていました。今では、交通指導員さん、先生方、お母さん方や地域の方々が協力し、わたしたちが安全に学校に通えるように努力してくれています。

けれども、低学年の子が下校するときや遊びに行くときに、横断歩道ではな

いところを通ったり、狭い道路を横に並んで歩いている姿を見たりすると、とても心配になります。そして、歩道や歩道橋があったらとても安心できるのに、と感じています。

別府市の中には、このように車がたくさん通る通学路を歩いて通う子どもたちがたくさんいると思います。

そこで質問です。わたしたちが安全に学校に通うために、どのような対策を考えていますか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

登下校中の皆さんの「安全・安心が最優先」と考えておりますし、毎日、事故にあわないことを心から願っています。

別府市教育委員会では、どのような対策を考えているかのお尋ねですが、まず、通学路の環境整備についてご説明いたします。皆さんが毎日登下校で歩いている道路の安全点検を4・5月に各学校で実施したところです。その結果、路側帯（白い線）や「文」マーク、信号機や横断歩道の設置等の要望を出していただき、別府警察署や道路を管理している国・県・市に整備をしていただくよう要望をしているところでございます。

次に、交通安全指導の取り組みとしましては、交通量が多い危険な場所などで、交通指導員さん、PTAや自治会の方々等にも登下校の見守り活動をお願いし、あたたかいご協力をいただいております。

それから、田上議員も以前に経験があると思いますが、教育委員会では毎年、幼稚園児・新1年生を対象にしまして、「移動交通安全教室（とんとんとまれ）」、小学3年生を対象に「自転車安全教室」を実技講習として実施しています。この教室は交通安全協会の方々と共に、みなさんに正しい横断・歩行の仕方や自転車の乗り方等を学び、ぜひ身に付けて安全に過ごしてほしいという願いのもとで実施しているものです。

これからも交通安全には十分気をつけながら、教育委員会も一緒になって指導していきたいと考えております。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 11番、田上和議員のご質問にお答えいたします。

低学年の子どもたちが交通事故にあわないかと心配する田上議員の優しい気持ちは本当に素晴らしいと思います。自分の体験からお話をいただきました。私も児童・生徒が交通事故にあったというニュースが流れるたびに交通事故については大変心が痛みます。

皆さんが交通事故にあわないよう、また道路の整備や信号機の設置などが早く実現できるよう、道路を管理している機関や警察などにこれからしっかりとお願いをしていきたいと思っております。

皆さんは、先ほど教育長が答えたように、日頃の交通安全学習や交通安全教室を通じて、事故にあわないようにしっかりと安全学習をしていただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 田上さん。

○11番議員（田上和さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、6番議員、鶴見小学校の荒金奏羽さんの一般質問をお願いいたします。

[6番議員 荒金奏羽さん、登壇]

○6番議員（荒金奏羽さん） 鶴見小学校では4年前からペットボトルのキャップを集める「エコキャップ運動」に取り組んでいます。

当時の児童会の6年生が何かみんなのためにできることはないかと考えたことがきっかけとなり、キャップの再利用は環境に良い、困っている人の役に立つ、全校で取り組めるという理由から、取り組むことになりました。

翌年には「環境委員会」も発足しました。週1回クラスごとに集めたキャップを環境委員が回収し数を数えます。そして1年に2回PTAの方に協力していただき、業者の方に運んでもらっています。その結果この4年間で17万3,640個のキャップを集め、217人分のワクチンにかえることができました。

最近、さまざまな場面で「エコ」「3R」という言葉を耳にします。CO<sub>2</sub>排出に伴う地球温暖化も深刻な問題になっています。

そこで質問です。別府市では「環境」を守るために、どのような取り組みを

しているのでしょうか。また、小学生でも参加できる取り組みがありましたら教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 生活環境部長。

○生活環境部長（永井正之君） お答えいたします。

鶴見小学校さんでは、ペットボトルキャップの回収が17万個を超えたということで、大変ありがとうございます。

ペットボトルキャップの回収については、市でも平成22年2月より始めておりまして、先月末までに約330万個を回収し、ごみの減量と世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に役立っています。

別府市では、限られた資源を大切に活用するため、家庭等で捨てられるごみの中から資源となるものを分別し回収しています。その他にも様々な取り組みを行っているのですが、先ほど3Rという言葉が出ました。ごみを減らすことをリデュースと言います。繰り返し使うことをリユースと言います。再資源化することをリサイクルと言いまして、この頭文字を用いて3R運動と言ひ、世界的に進めているところです。別府市でもこの意識を高めていこうと取り組みを行っています。

それから、エコ・CO<sub>2</sub>の削減につながるようなフリーマーケット、『キャンドルナイト』や『アースデイおおいた』などのイベントも行っていますので、ぜひ荒金議員にはご参加していただくとうれしく思います。

ご質問の、小学生でも参加できる取り組みとしては、エコマークが付いた文具の使用、給食を残さず食べる、買い物の時にエコバッグを持っていく、不要な電気をチェックして節電に努める、家庭や学校で「緑のカーテン」を育てる、といったものがあり、地球の温暖化防止につながります。

このささいな積み重ねが、環境を守る大切な活動ではないかと考えております。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 6番、荒金奏羽議員のご質問にお答えします。

荒金議員をはじめ鶴見小学校の皆さんやPTAの方が、環境に良い、また困っている人に役立つ方法として「エコキャップ運動」にがんばって取り組んで

いることを大変うれしく思います。また、学校内で「環境委員会」という組織もつくられたとのことで、頭が下がる思いでございます。

市では、別府市の環境を守っていくための計画として、平成22年度に第2次別府市環境基本計画を作成しまして、市の各部署が環境を守るために様々な取り組みを進めています。全て一度に実行できるものではございませんが、少しずつ着実に実施できるよう知恵を出しながら取り組んでいるところでございます。

荒金議員におかれましては、別府市が始める前よりエコキャップ運動に取り組んでおられるということを知りました。是非ともこれからも困っている人や環境を思う気持ちを大切にして取り組みを継続していただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 荒金さん。

○6番議員（荒金奏羽さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） 次に、12番議員、緑丘小学校の西村早耶香さんの一般質問をお願いいたします。

[12番議員 西村早耶香さん、登壇]

○12番議員（西村早耶香さん） 私が学校から外を見ると、片手にゴミ袋を持ち、もう片方の手に軍手をはめたおじいさんたち4・5人でゴミを拾っていました。その日の帰りに、ふと足もとを見ると、やっぱりお菓子のごみがありました。

そこで私は、ボランティアなどで清掃をしている人だけでなく、私たちもした方がいいと思いました。私たちもゴミ拾いをしたら、別府のまちがきれいになるだけでなく、ゴミを捨てない気持ちも育つと思ったからです。

また、みんなの心もつながると思いました。みんなとおしゃべりしながら、清掃するのも楽しいのではないかと思います。

そこで質問です。別府市では、市民みんながゴミ拾いをする活動はないのでしょうか。もし、そのような活動をしているのならば、どのように市民に知らせているのですか。また、無いのであれば、今後そのような活動をする計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（西岡冬威君） 生活環境部長。

○生活環境部長（永井正之君） お答えいたします。

現在、別府市で行っております清掃活動についてご説明させていただきます。

毎年5月にお客様の玄関口である別府駅周辺のごみ拾いを行う「ポイ捨て禁止キャンペーン」、6月第1日曜日に、別府市全域を対象に、公園や道路、側溝などの清掃や草刈りを行う「全市一斉清掃」、7月第3日曜日に、スパビーチなどの海岸線の清掃を行う「海岸海浜清掃奉仕活動」等がございます。

その他に、市民の皆さんが独自に、自分の町内の清掃を行うボランティア清掃が、年間で約150回実施されております。

また、市民の皆さんへは、別府市で行っております清掃活動につきましては、市報やケーブルテレビ等を通じまして広報を行っております。

今後も多くの市民の皆さんのご協力をいただきながら、ごみのない美しいまちを作っていきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○副議長（西岡冬威君） 市長。

○市長（浜田 博君） 12番、西村早耶香議員のご質問にお答えします。

ボランティアでごみを拾っている方を見かけ、「自分もやってみたいなあ」と思われた西村議員の気持ちは、素晴らしいことだと思います。

別府市は「美しいまちをつくりましょう」という市民憲章があります。多くの市民の皆さまに日々、ボランティアで清掃活動を行っていただいております。本当にありがたいことだと感謝をいたしております。

先程、部長がお答えしましたように、別府市では、色々なボランティア清掃を行っておりますので、是非とも西村議員にも参加していただきたいと思っております。

また、学校の行き帰り等、お友達と一緒に道路に落ちている空き缶やお菓子のごみ等を拾ってみてください。それも立派なボランティア清掃で、その姿を見た方は「ごみを捨ててはいけないなあ」と感じ、ポイ捨てする人も減ってくると思います。

これからも、市民の皆さまのご協力をいただき、別府市をごみのない、美しいまちにしていくよう努めていきたいと思っておりますので、西村議員もご協力をよ



ろしくお願いします。

これからも別府のまちをきれいにしたいという気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（西岡冬威君） 西村さん。

○12番議員（西村早耶香さん） ありがとうございます。私もこれからは清掃活動をしていこうと思いました。これで質問を終わります。

○副議長（西岡冬威君） これをもって一般質問を終結いたします。

休憩いたします。

午前11時00分 休憩

午前11時10分 再開

○議長（岩田優里さん） 再開いたします。

日程第5により、提言を行います。提言者は4名です。提言順位により、提言を行います。

○議長（岩田優里さん） 最初に、19番議員、東山中学校の有田双葉君に提言の発表をお願いいたします。

[19番議員 有田双葉君、登壇]

○19番議員（有田双葉君） ぼくが通っている東山中学校は、少人数でみんな仲が良く小鳥のさえずりや、セミの鳴き声を聞きながら勉強できる、自然豊かな環境にある学校です。

園児から中学生まで、休み時間にはみんなで遊びます。その中学生の中には、路線バスで登校する生徒もいて、ぼくもその中の一人です。学校のすぐ近くにバス停もありますが、そこに停まる路線バスの数が少なく、部活生などは歩いて10分ほどかかるバス停まで歩いて行かなければなりません。その道は、あまり整備されていなく、危険な箇所がいくつもあります。それで、今回はこの通学路にある危険とその改善について提言します。

危険性の1つ目は、歩道がないうえに、大型のトラックやスピードを出す車が結構多く通ることです。危険性の2つ目は、草が伸びきっていて、見通しが悪いところが多く、人の目も届きにくいことです。夜は街灯が少ないので車を運転する人には歩行者が確認しにくいと聞いたこともあります。

ぼくたちの通学路は地域に住む人たちも利用していますので、歩道とガードレールを設置するなど道路周辺が整備されれば、未然に事故を防げるのではないかと思います。

これらのことが改善されれば、東山小・中学校に通う生徒だけでなく、地域の人たちや東山を訪れる人たちにも安全で暮らしやすい環境になると思います。

これで提言を終わります。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 19番、有田双葉議員のご提言にお答えいたします。

今年の4月23日以降、京都府などで起きています登下校中の児童・生徒の列に自動車が入り込み、死傷者が発生する痛ましい事故が相次いでおり、子どもたちの通学時の安全をどう守るか、大変心配しているところです。

有田議員ご提言の道路は、内成地区と東山地区を結ぶ延長約9kmの重要な幹線市道であります。このうち、鳥居バス停から学校までの約800mの通学路の整備については、校区外から通学している生徒の皆さんが、安心して歩けるよう歩道の整備を早急に取り組む必要があります、現在国・県とも協議して交通安全整備事業として、実施する予定にしております。

この道路整備が出来るまでの草刈りや、街灯の設置などできる限り行いたいと思います。有田議員のご提言は、東山小中学校の児童・生徒だけではなく、地域の皆さまのことを考えた優しさから出たものと感じられました。

その気持ちをいつまでも大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 次に、18番議員、浜脇中学校の恒松皇樹君に提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 恒松皇樹君、登壇]

○18番議員（恒松皇樹君） ぼくはみんながサッカーなどのスポーツができる公園や設備をもっとたくさん作ってほしいと願っています。

理由は3つあります。1つ目は別府市には公園はたくさんあるのですが、狭かったり、制限があったりするなど、思いっきりスポーツを楽しむことができないからです。

2つ目は、昔に比べて今の子供は体力が低下しているということをよく耳にするからです。思いっきりスポーツができる公園や設備があれば、体力向上にもつながっていくのではないかと思います。

3つ目は、今は室内でゲームをして遊ぶ人が多いからです。公園などの施設が充実すれば外で遊ぶ機会も増え、健康の増進にもつながるのではないかと思います。

以上のことから、みんなが思いっきりスポーツのできる、広くて、きれいな公園や設備を作ってほしいと願っています。

これで提言を終わります。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 18番、恒松皇樹議員のご提言にお答えいたします。

別府市内には現在167の大小さまざまな公園があり、多くの市民に親しまれ、利用されています。公園は、備え付けのブランコなどの遊具で遊んだり、ボール遊び、散歩・ジョギングなどの軽スポーツやレクリエーションで楽しみながら体力を増進し、健康を促進する場やコミュニティ活動や憩いの場として利用されています。さらには、災害時に緊急避難場所として利用されることもあります。

公園はいろいろな役割があり、軽スポーツやレクリエーションで利用することもできます。お友達と公園で遊び、運動し、汗を流していただきたいと思います。

また、スポーツを楽しむための公園・施設としては、実相寺中央公園や別府アリーナ、各地区体育館などいろいろな体育施設があります。夕方や休日に学校の運動場を利用するのはいかがでしょうか。

私も子どもからお年寄りの方々がたくさん運動し、スポーツを楽しみ、健康、体力の増進をほかってほしいと思っていますので、その実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 次に、17番議員、北部中学校の平江天希君に提言の発表をお願いいたします。

[17番議員 平江天希君、登壇]

○17番議員（平江天希君） 別府市は古くからの歴史をもつ竹細工が伝統工芸になっています。私たちの中学校の周りにもたくさんの竹があります。

しかし、私は、別府市は竹細工が有名だということは知っているのですが、伝統工芸の竹細工を身近に感じたことがあまりないことに気がつきました。

そこで、誰でも簡単にできるような体験学習や竹細工を学ぶ時間がもっとあればと思っています。

例えば、学校での授業などでこのような時間をもつことができれば、私たち一人一人が別府市のことを誇りに思うことができ、観光で別府を訪れた方々にも自信をもって「別府」というまちを自慢することができると思います。そして、「別府」というまちがもっと輝けるようなまちになるように、このようなことを実現して行ってほしいと思います。

これで提言を終わります。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 17番、平江天希議員のご提言にお答えいたします。

別府の竹細工の歴史は室町時代に始まると聞いております。江戸時代に入り湯治客が滞在中に使用した飯かご、ざる等が土産品として売られるようになり、<sup>とうじ</sup>地場産業として定着していきました。その後数多くの作家を生みだし、<sup>じば</sup>伝統工芸品としての価値を高めていきました。

別府市では、東荘園に平成6年、別府市竹細工伝統産業会館を設置し、竹細工を展示して竹細工と接する機会を設けています。また、同会館では、体験学習として、「竹鈴」、「コースター」などを製作でき、観光客、社会科見学などで訪れた方々が実際に製作をして、ご好評をいただいております。

さらに、本格的に竹細工を学ぶ方は、同会館の竹の教室に参加いただいております。また、大分県竹工芸訓練・支援センターに入学をしていただいている方もおります。伝統工芸を継承していくための環境が別府市には整っていると思っております。

平江議員も、気軽に竹細工伝統産業会館を訪れていただき、体験学習を通じて竹細工を身近に感じていただき、周りの皆さまにその魅力をぜひ伝えていた

できればうれしく思います。

今後も伝統工芸の竹細工をもっと身近なものにするための努力を行っていき  
たいと思います。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（岩田優里さん） 次に、16番議員、山の手中学校の加藤隼哉君に提言の発表  
をお願いいたします。

[16番議員 加藤隼哉君、登壇]

○16番議員（加藤隼哉君） 私たちの通っている山の手中学校からは、東に別府公園、  
西には鶴見岳や扇山、さらに4月に遠足で訪れた実相寺など、身近に多くのみ  
どりを目にすることができます。

これらは別府の財産であり、訪れてくれる観光客の皆さま方の心を落ち着か  
せてくれるものだと思います。このように、身近に自然を感じながら生活でき  
る私たちは、とても幸せだと思います。

そのような中、数ヶ月前まで学校の南側にあった大きな雑木林が、今ではす  
っかり無くなってしまったのです。私はその光景を見て、何か寂しく感じまし  
た。同時に、未来の別府も開発が進み、みどりが減ってしまうのではないかと  
心配になりました。

現在別府市では、温泉地や公園など、いろいろな環境の整備が進んでいると  
聞いています。そこで、整備するにあたっては、現在ある「みどり」をしま  
り守りつつ、さらに増やして、みどり豊かな別府にすれば、住みやすく、観光  
客の方たちにもたくさん訪れていただけるまちになるのではないのでしょうか。

これで提言を終わります。

○議長（岩田優里さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 16番、加藤隼哉議員のご提言にお答えいたします。

雄大な鶴見連山や美しい別府湾に囲まれた別府の市街地には、温泉の湯けむ  
りがたなびき、豊かな自然が多く残っており、人々の心を癒<sup>いや</sup>してくれます。特  
に湯けむりに関しましては、本年6月15日に文化審議会が「別府の湯けむり・  
温泉地景観」を国の重要文化的景観に選定するよう答申<sup>とうしん</sup>をし、近々選定される  
予定であります。

答申どおり選定されますと、温泉地の景観としては全国初の選定となります。このすばらしい自然景観は別府市の財産であり、将来も守り、育てていく必要があると考えています。

ご提言の中でみどりが減ってしまうのではないかとこの心配をいただきました。本当にみどりは大切です。

別府市景観計画や条例によって、ビルの建設や宅地開発などを行うときは、樹木や花などを植えるように定め、市民の皆さまの協力をいただきながら、都市のみどりを増やす取り組みを進めていきたいと思っております。

今後とも、貴重な自然景観を大切に保全し、みどり豊かで住みやすい環境のまちづくりを推進し、たくさんの観光客に訪れてもらえる別府市にしていくように、がんばっていききたいと思います。

加藤議員の自然を大切に想うすばらしいご提言をいただきありがとうございます。

○議長（岩田優里さん） 以上で、提言の発表を終結いたします。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」を議題といたします。

提出者の21番議員、青山中学校の北原收真君から、提案理由の説明をお願いいたします。

[21番議員 北原收真君、登壇]

○21番議員（北原收真君） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「別府の発展に協力するために」

子ども宣言

昨年、東日本大震災が発生し、日本各地で電力不足が起きたため、計画停電や節電に取り組んできました。私たちが過ごしている別府でも節電が求められています。そのためには、私たち一人一人が自分にできることを行動に移していくことが大切です。

また、別府は温泉が多いため、地熱発電が利用できるのではないかと、そのメリットを生かし、他の県にも電力を分け、支援していくこともできるのではな

いかと考えました。今後は、別府ならではの支援のあり方を検討していくことも必要です。

そのためには、世界に誇れる温泉や地獄、伝統工芸の竹細工、湯けむりなどの別府特有の財産を生かし、魅力あふれる別府になるよう市長さんを中心として、私たち一人一人も努力していきたいと思えます。

そこで、人と人とのつながりを大切に、別府の発展に協力していけるよう次のことを誓います。

- 1 別府の魅力についてしっかり学び、観光客や別府を訪れるみなさまをあたたくお迎えします。
- 2 環境やエネルギーのことを考え、リデュース、リユース、リサイクルなど身近にできることから積極的に取り組んでいきます。
- 3 すべての命を尊重し、差別なくさまざまな場所でお互いが協力し、あたたかい別府をつくっていきます。

以上のことを、宣言いたします。

平成24年7月31日

べっふ子ども市議会

なにとぞ、子ども議員、皆さんのご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（岩田優里さん） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号」については、原案のとおり決することに、賛成の皆さんのご起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（岩田優里さん） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

ご着席ください。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

お諮りいたします。

第10回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（岩田優里さん） ご異議なしと認めます。

よって以上で、第10回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします。  
お疲れさまでした。

午前11時30分 閉会



## [閉 会 式]

○市議会事務局（山本佳代子さん） 皆さまお疲れさまでした。

それでは、議長、副議長は議員席へお戻りください。

ただいまから、第10回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） 皆さん、きょうは本当にありがとうございました。

小学生と中学生による「べっぷ子ども市議会」、思えば10年前に子ども会を支える議員連盟の皆さんから、別府市で子ども市議会を開催しましょうと提案がありました。ちょうど私が市長に就任して10年になりますが、この「べっぷ子ども市議会」が10回目の節目を迎えました。

この様子は当時、全国の子ども新聞に掲載されました。そして全国から問い合わせがありました。それから10回開催し、すばらしい「べっぷ子ども市議会」になったと感じています。

今日も数々の観察力、鋭いご質問や、ご提言をいただきました。柔軟な発想からのすばらしいご提言がありました。今年も過去の先輩方に引けをとらないご質問・ご提言をいただいたと思っております。

皆さんからいただいたご意見を、しっかり実現できるように、私たちが肝をすえてがんばっていききたいと考えております。

そして別府の発展に協力するという内容の心のこもった宣言を、皆さんの熱い思いをいただきました。ふるさと別府を良くしたいという思いが込められていましたね。感動いたしました。

これからの別府のまちづくりを支えるのは皆さんです。「べっぷ子ども市議会」を出席した貴重な体験をこれからの勉学に活かしていただいて、ひとまわりも、ふたまわりも、大きくなってほしいと思います。皆さんの成長を心から期待をいたしております。

私たちが、今日皆さんのご質問やご提言を聞いて、なおいっそう、この別府市で育って良かった、お父さんお母さんこの別府で産んでくれてありがとう、先生にこの学校で勉強させてくれてありがとう、地域の人たちには私たちの安全を守って

くれてありがとう、という感謝の気持ちを忘れてはならないと思います。

別府に住んで良かった、この学校で学んで良かった、この地域で育って良かった、と思えるようなまちづくりをしっかりとがんばっていきたくて思っております。これから皆さん方がこの別府を発展させたいという思いを大切にしながらがんばっていただきたいとお願い申し上げたいと思います。

終りになりましたが、第10回「べっぷ子ども市議会」の開催に大変なご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、別府市PTA連合会の皆さま方、保護者の皆さん、そして学校の先生方、また、別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆さま方、心から感謝を申し上げます。

今日は皆さん本当にありがとうございました。

○市議会事務局（山本佳代子さん） 続きまして、寺岡悌二教育長より、本日ががんばっていただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 朝日中学校 永松 文 さん。

[20番議員 永松文さん、議場中央フロアに立つ]

○教育長（寺岡悌二君） 本日は緊張の中、本当によくがんばりました。これからの生活をしっかりとがんばって、今日の経験を生かしてください、心から祈念いたしております。

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局（山本佳代子さん） ここで、子ども議員を代表して、永松文さんからお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに主催者の方は、ご起立願います。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（永松文さん） 今日は、べっぷ子ども市議会に参加させていただき、ありがとうございました。

この会に参加して、別府市で行われていることの一つ一つが議会によって取り上げられ、話し合われ、決められていくのだということを改めて実感しました。そして、私たち一人一人が、自ら考え、声を上げ、多くの人の意見に耳を傾けていくことの大切さを学びました。

これから私は、私たち別府市民にとって、目の前にあるものが有益であるかどうか

か、また、人に優しい制度であるかどうか、より良い別府市にしていくためにはどうしたらいいのかということ、考えながら生活していきたいと思えます。

このようなことを考えるきっかけとなる貴重な体験をさせていただき、感謝しています。これからも多くの小中学生が参加し、共に考え行動していける子ども市議会であってほしいと願っています。

(拍手)

○市議会事務局（山本佳代子さん） それでは、皆さまご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（山本佳代子さん） 以上をもちまして、第10回「べっぷ子ども市議会」閉会式を終了いたします。

# 「別府の発展に協力するために」 子ども宣言

昨年、東日本大震災が発生し、日本各地で電力不足が起きたため、計画停電や節電に取り組んできました。私たちが過ごしている別府でも節電が求められています。そのためには、私たち一人一人が自分にできることを行動に移していくことが大切です。

また、別府は温泉が多いため、地熱発電が利用できるのではないかと。そのメリットを生かし、他の県にも電力を分け、支援していくこともできるのではないかと考えました。今後は、別府ならではの支援のあり方を検討していくことも必要です。

そのためには、世界に誇れる温泉や地獄、伝統工芸の竹細工、湯けむりなどの別府特有の財産を生かし、魅力あふれる別府になるよう市長さんを中心として、私たち一人一人も努力していきたいと思えます。

そこで、人と人とのつながりを大切に、別府の発展に協力していけるよう次のことを誓います。

- 1 別府の魅力についてしっかり学び、観光客や別府を訪れるみなさまをあたたかくお迎えします。
- 2 環境やエネルギーのことを考え、リデュース、リユース、リサイクルなど身近にできることから積極的に取り組んでいきます。
- 3 すべての命を尊重し、差別なくさまざまな場所でお互いが協力し、あたたかい別府をつくっていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成24年7月31日

べっぴん子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し  
署名します。

平成24年7月31日

べっぷ子ども市議会

議長

岩田 優里

副議長

西岡 冬威

会議録署名議員

阿比留知映

会議録署名議員

福山 美羽



別府市議会子ども会を  
支える議員連盟 会長

首藤 正

子ども議員の皆さん、「第10回べっぷ子ども市議会」では、別府の子どもたちの代表として、みんなの意見を良くまとめ、勉強してきたことに大変感心しました。「別府を思う気持ち」が質問や提言を通して、強く伝わってきました。私たち議員も皆さんの思いを実現できるよう、夢のあるまちづくりに一層励んでいきます。

また、子ども市議会が無事終了できましたことは、子ども議員本人は勿論、それを支えてこられました先生方、子ども会育成会連合会の皆さま、PTA連合会の皆さま、そして保護者の皆さまの御蔭であり、心より感謝申し上げます。

今後とも、子どもたちの幸せな環境づくりのため、また、子どもたち自身が理想とするまちづくりを考え、そして、行動出来るよう皆さまのなお一層のご支援をお願いいたします。



別府市教育長  
寺岡 悌二

「第10回べっぷ子ども市議会」では、子ども議員のみなさんから様々な質問や提言がなされました。その内容は、子どもらしい夢のある発想から生まれたものであっただけでなく、広い視野に立った多面的なものの見方や考え方、さらには豊かな感性が育っていることをうかがい知ることができるものであり、将来の別府を担う子どもたちとして大変頼もしく思えました。

また、礼節を重んじ、堂々と発言する姿はもちろん、聴く態度もすばらしく、学校、家庭、地域、それぞれにおける常日頃からのご指導に心より感謝いたします。

教育委員会といたしましても、学校や家庭、地域、ふるさと別府への子どもたちの純粋な思いや願いが生かされますよう今後も努力してまいります。



別府市子ども会  
育成会連合会 会長

池辺 栄浩

第10回べっぷ子ども市議会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年は、節目の記念大会ということもあり、例年にも増して良い大会であったと思えました。子ども議員さん一人一人の質問と提案に、愛するふるさと別府への思いが感じられ、真剣に取り組まれた姿に感心しました。今回のこの貴重な経験を土台として、皆さんの夢にむかって挑戦し続けてください。そして20～30年後、将来の別府を担う人となることを期待しています。

私たち市子連は、厳しい環境下ではありますが、別府の子どもの健全な育成のために、安心・安全の環境整備と学校外の社会体験の場の提供を展開していく所存でございます。今後とも皆様のご支援とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、御尽力頂いた関係各位に深く感謝申し上げます。有難うございました。



別府市PTA連合会  
会長  
和田 俊二

別府の明日を担う子ども達が、ふるさとの発展を心から願う姿を今年もまた見る事ができました。その真直ぐな質問や提言に感動すらおぼえました。このようなすばらしい子ども市議会を支えてくださった関係者の皆様に保護者を代表して心から御礼申し上げます。

さて、激変する社会環境、さらには少子化による地域の教育環境の変化のなかで、私たち保護者は別府の宝物をしっかりと育てていく責任があります。そのためには地域や、行政とより一層スクラムを組む必要がありますし、保護者としての資質のレベルアップのためにさまざまな勉強も必要だと痛感いたしました。私たち別府市PTA連合会は、別府の子ども達の幸福のため今後とも力を尽くしてまいります。皆様の温かいご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。